

(仮称) あかしSDGs推進計画（第6次長期総合計画）の策定（概要）について**1 総合計画について****(1) 策定根拠**

- ・総合計画とは、市の最上位に位置付けられる行政計画で、まちづくりを総合的・計画的に推進するための指針となる計画であり、明石市自治基本条例により策定が義務付けられています。

(2) 過去の総合計画

- ・本市では、1972年に最初の「長期総合計画」を策定して以来、10年ごとに5次にわたって総合計画を策定してきました。

(3) 第5次長期総合計画

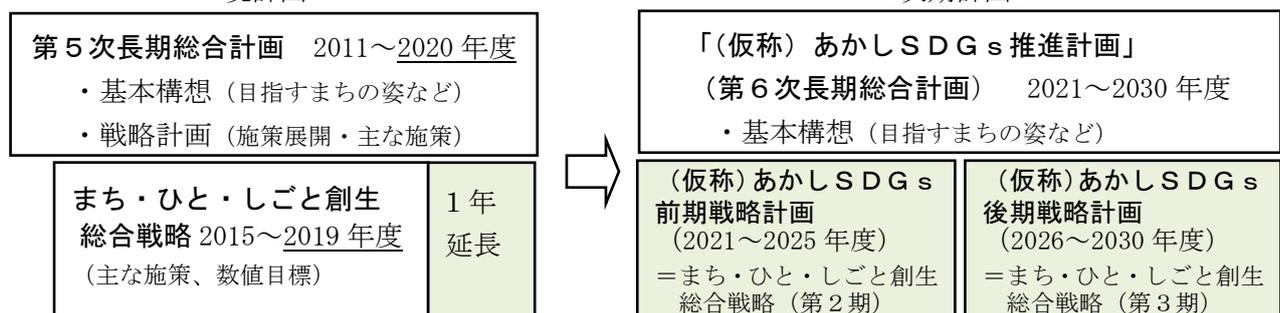
- ・現行の第5次長期総合計画は、2011年に2020年度までを目標年次として策定したものです。目標人口を29万人とし、「子どもの健やかな育ちで、みんなの元気を生み出す」を掲げ、策定以降、計画を推進してきました。
- ・2014年に、人口減少の克服と地域活力の向上を図ることを目的とした取り組みである地方創生の考え方が国により示され、本市においても第5次長期総合計画をベースとして、明石の強みとなる交通の利便性や、ベッドタウンであることなどの地域特性をいかした「明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を2015年に策定しました。
- ・総合戦略の策定以降は、同戦略に基づき重点的な施策を図りながら、総合計画と総合戦略を一体的に推進してきました。

2 次期計画の枠組み

- ・次期計画の策定に当たっては、総合計画と総合戦略をさらに一体的に進めるため、目指すまちの姿やまちづくりの方向性といった、基本構想部分を定めた「(仮称) あかしSDGs推進計画」(2021～2030年度の10年間)を総合計画として策定します。
- ・総合計画の方向性を踏まえ、優先的に取り組む施策、各分野の主な施策を「(仮称) あかしSDGs前期戦略計画」(2021～2025年度の5年間)として策定し、「明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期)」に位置付けます。

<現計画>

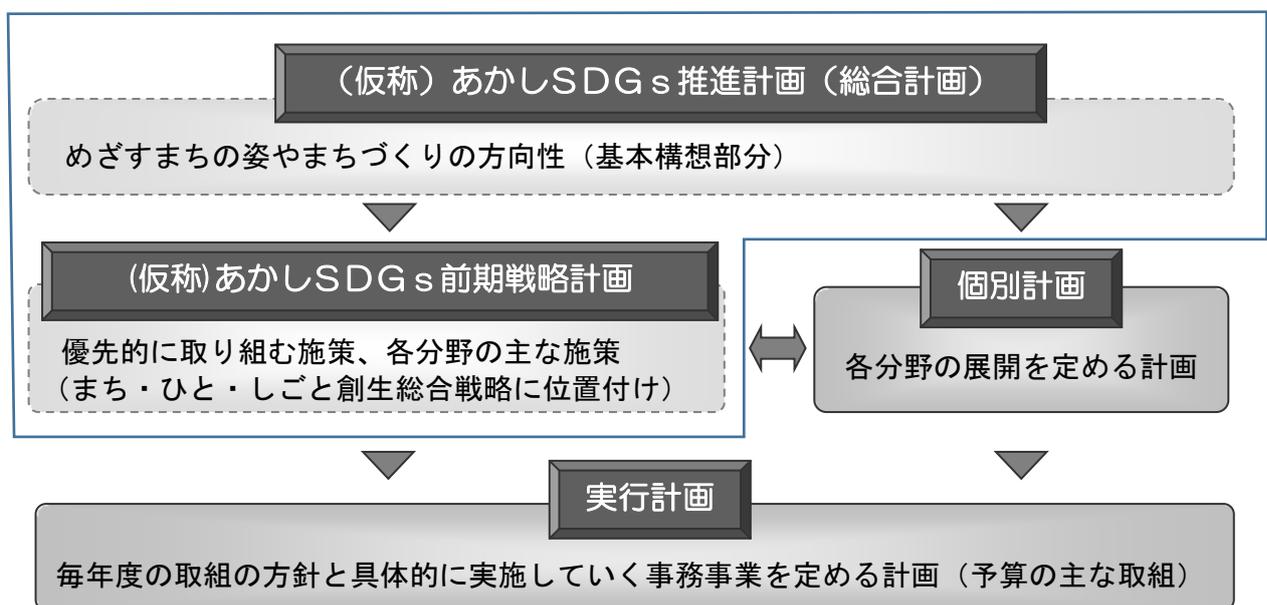
<次期計画>



- ・各分野の具体的な施策や取り組みを定めた個別計画の策定や見直しに当たっては、「(仮称)あかしSDGs推進計画」の方向性に基づき検討することとします。
- ・毎年度、同計画、「(仮称)あかしSDGs戦略計画」及び個別計画に基づいて実施する具体的な事務事業を明らかにした実行計画も、引き続き策定していくこととします。
- ・本審議会においては、この「(仮称)あかしSDGs推進計画」及び「(仮称)あかしSDGs前期戦略計画」について審議いただきます。

【計画の構成】

(審議会での検討範囲)



【各計画の概要】

(仮称)あかしSDGs推進計画(総合計画)	めざすまちの姿やまちづくりの方向性を定める。 【議会での議決事項】
(仮称)あかしSDGs前期(後期)戦略計画	総合計画の方向性を踏まえ、前期・後期に分けて、優先的に取り組む施策、各分野の主な施策に加え、KPI(業績評価指標)などの数値目標を定める。 【まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期)に位置付け】
個別計画	総合計画の定める方針に沿って、各分野の施策展開に当たっての基本的な考え方を示すとともに、推進する施策を体系化し、具体的な取組を定める。
実行計画	総合計画、戦略計画及び個別計画を推進するため、予算の柱として、毎年度の取組の方針と具体的に実施していく事務事業を定める。

3 計画の期間

- ・次期総合計画の計画期間は、2021年度～2030年度とします。
- ・戦略計画は、総合計画の10年の計画期間を前期と後期に分けて、前期を2021年度～2025年度、後期を2026年度～2030年度とします。



4 SDGsの反映

(1)SDGs (Sustainable Development Goals) とは

- SDGsは、2015年9月に国連サミットにおいて全会一致で採択された持続可能な開発目標であり、2030年までを計画期間として、誰一人取り残さない社会の実現を目指し、国際社会全体で取り組む17の目標（17の目標の下に更に細分化された169のターゲット、232の指標）を掲げています。
- SDGsの達成に向けては、社会・環境・経済をめぐる広範な課題に、統合的に取り組むとともに、すべての関係者（先進国、途上国、政府、地方自治体、民間企業、NPO・NGO、学術機関、各種団体、住民など）の役割（パートナーシップ）が重要とされています。



(2) 国におけるSDGsの動向

- 国においては、SDGs推進本部を設置し、SDGs実施指針を策定の上、政府一体となってSDGsを推進しています。また、全国的な展開に向けて、地方自治体においても積極的な取組が求められており、総合計画をはじめ各種計画の策定や改定に当たっては、SDGsの要素を最大限反映することが求められています。
- 第2期の地方創生においては、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」社会の実現を踏まえ、SDGsを原動力とした地方創生の推進に向け、地方自治体のみならず、民間企業、大学、各種団体、市民などの多様な関係者（ステークホルダー）におけるSDGsの一層の浸透・主流化を図ることとしています。

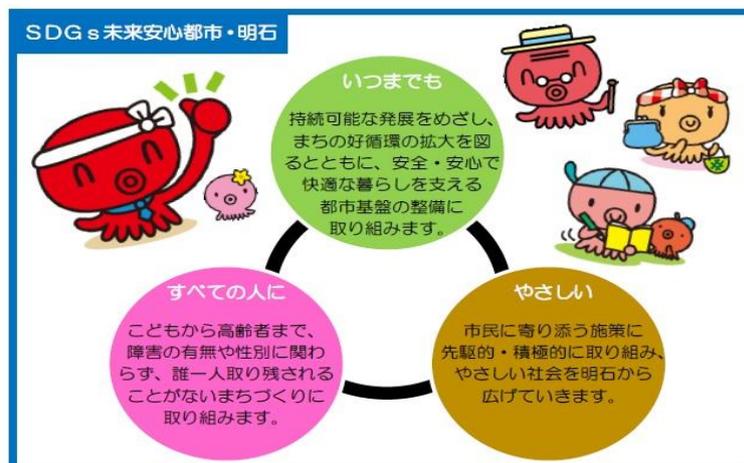
(3) SDGsと本市のまちづくりとの整合

①これまでの重点的なまちづくり（「こどもを核としたまちづくり」、「誰にもやさしいまちづくり」）

- ・第5次長期総合計画では、「ひと」、「まち」の成長、発展により、未来に希望を持てる安心なまちを築き、次の世代に引き継ぐこととしています。
- ・本計画の考え方にに基づき、重点的に取り組んできた「こどもを核としたまちづくり」においては、こどもはまちの未来という考えのもと、まちのみんなですべてのこどもを応援するとともに、「誰にもやさしいまちづくり」においては、中核市の権限を最大限活用し、「必要な時に、適切な支援を、必要とするすべての人に」という考えのもと、すべての人が大切にされる共生社会の実現につながる取組を推進してきました。
- ・その結果、子育て世代を中心に人口が増え、まちの賑わいや税収が増加し、更なる施策展開が可能となり、それにより、まちの魅力が一層向上するという、まちの好循環が拡大しています。

②SDGsの理念との整合

- ・こうしたまちづくりの方向性は、SDGsの「持続可能」、「誰一人取り残さない」、「パートナーシップ」という理念と一致しています。
- ・さらに、SDGsは、社会・環境・経済の課題に対して、統合的に、相乗効果が生まれるように、バランスよく取り組むこととされています。こうした社会・環境・経済面での相乗効果により、持続可能な発展を目指す考え方は、まちの好循環の維持・拡大に資するものであり、今後のまちづくりの推進に当たっては、SDGsの理念を一層反映していくことが重要であると考えます。
- ・2019年度からは、市制施行100周年を契機に、次なる100年を見据えて、持続可能な社会の実現に向けて、「こどもを核としたまちづくり」「誰にもやさしいまちづくり」を一層推進し、今後の目指すまちの姿として、「SDGs未来安心都市・明石」の創造を掲げ、全世界が取り組む目標であるSDGsの理念を反映した「いつまでも」「すべての人に」「やさしい」まちづくりに取り組んでいます。

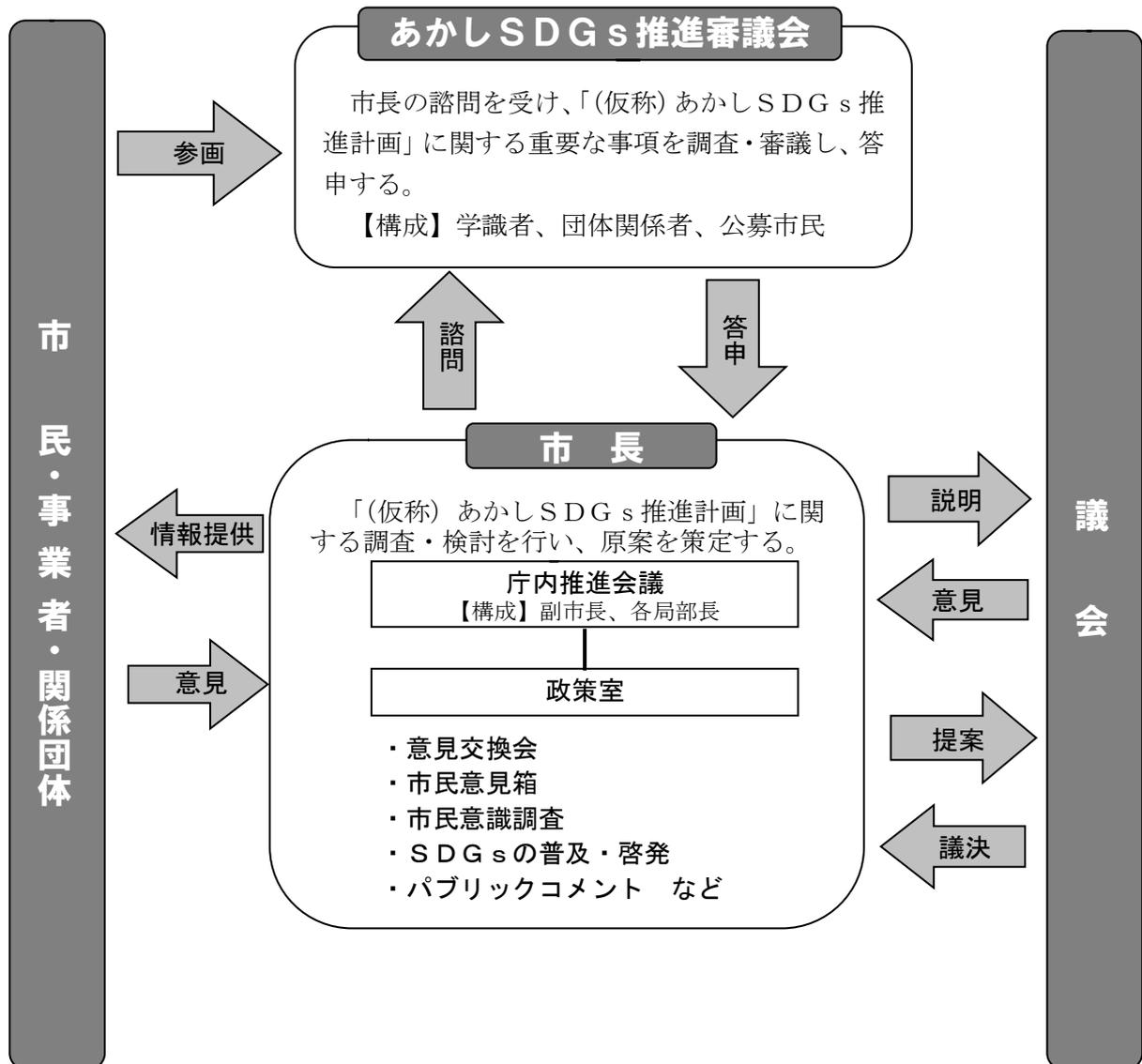


(4) 「(仮称) あかしSDGs推進計画」への反映

- ・SDGsの全国的な展開が進むなか、これまでのまちづくりの状況を踏まえ、今後一層、SDGsを反映した持続可能なまちづくりを推進していくため、最上位計画である総合計画にSDGsを位置付けます。
- ・SDGsの目標の達成に向けては、社会全体で取り組む必要があることから、次期総合計画の名称を「(仮称) あかしSDGs推進計画」とすることにより、今後、まちづくりの目標として、SDGsを強く推進していくことを、市民や事業者、各種団体の方々に分かりやすく伝え、共有することでオール明石で取組を推進していきたいと考えています。

5 次期計画策定の体制

【策定の体制図】



6 スケジュール

時期		内容	
		審議会	市議会
令和2年	2月	第1回あかしSDGs推進審議会 ・本市の状況（好循環） ・（仮称）あかしSDGs推進計画（第6次長期総合計画）の策定 ・第5次長期総合計画の検証 ・（仮称）あかしSDGs推進計画の考え方	
	3月	第2回あかしSDGs推進審議会 ・（仮称）あかしSDGs推進計画の素案	3月議会 ・検討状況、次年度の取組
令和2年	4月	次期総合計画意見箱の設置	
	5月	第3回あかしSDGs推進審議会 ・（仮称）あかしSDGs前期戦略計画の骨子	
	6月		6月議会 ・検討状況
	7月		
	8月	第4回あかしSDGs推進審議会 ・（仮称）あかしSDGs前期戦略計画の素案	
	9月		9月議会 ・検討状況
	10月	第5回あかしSDGs推進審議会 ・（仮称）あかしSDGs推進計画及び（仮称）あかしSDGs前期戦略計画のパブリックコメント案	
	11月	パブリックコメントの実施	
12月		12月議会 ・検討状況	
令和3年	1月	第6回あかしSDGs推進審議会 ・（仮称）あかしSDGs推進計画及び（仮称）あかしSDGs前期戦略計画の答申案 市長への答申	
	2月		
	3月		3月議会 ・議案提案（次期総合計画）